

	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
国など	第6期科学技術イノベーション基本計画	イノベーション基本計画	第4期教育振興基本計画 (2023~2027) (2025)	第7期科学技術・イノベーション基本計画 (2026~2030)		第5期教育振興基本計画
横浜市	国立大学 (2022~2027) 第4期中期目標・計画	中期計画 (2022~2025)	EXPO2025 大阪・関西万博			国立大学 (~2033) 第5期中期目標・計画
YCU	よこはま保健医療プラン				横浜国際園芸博覧会	
			第4期中期目標・中期計画 (2023~2028)		中期計画中間振り返り	
			大学創立100周年事業 (~2028)			大学創立100周年記念式典
	データサイエンス研究科 ヘルスDS専攻 博士後期課程 開設				大学機関別認証評価受審	
	医学教育分野別認証評価受審 (医学)	病院機能評価受審 (センター病院)		病院機能評価受審 (附属病院)	医学教育分野別認証評価受審 (看護)	
	学長選考					

YCU ミッション

国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す。

取組の基本方針

- 「横浜から世界へ羽ばたく」人材育成と知の創生・発信
- 学生・市民・社会に対して本学が有する知的・医療資源の還元

6年度の位置付け

第4期中期計画（令和5～10年度）の2年目となる令和6年度は、計画達成に向けた取組を加速させる重要な年です。自律的かつ持続可能な法人経営に向けた改革に決意をもって取り組めます。

I 教育

(【】は計画番号)



- ◆3つのポリシーの実現と教育の質保証の推進【1】【4】
- ◆文部科学省認定「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の推進【3】

◆データサイエンス学部、研究科の機能強化【5】

- ◆グローバル教育の推進【2】【9】【10】【36】
- ◆社会ニーズに対応したリカレント教育の提供【5】【11】

地域貢献・グローバル展開

II 研究



- ◆先進的な医科学研究及びトランスレーショナルリサーチの推進【12】
- ◆学長裁量事業（戦略的研究、学術的研究）による研究の推進【13】【15】【16】

- ◆産学官共創オープンイノベーション研究施設の整備【14】
- ◆研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

III 医療

(【附】は附属病院、【セ】はセンター病院)



- ◆医療安全文化の醸成と体制の拡充【18】
- ◆病院機能評価受審による医療の質改善・向上【セ】【18】
- ◆専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師の育成と活用【25】
- ◆医師の労働環境の向上【33】

- ◆新興感染症等への体制整備【18】
- ◆附属2病院の新たな連携体制によるがんゲノム医療の推進【23】
- ◆遠隔ICU事業の推進【附】【21】
- ◆医療機器や施設・設備の計画的な更新【21】
- ◆重症系病床等の拡充・改修工事の実施【21】



VI 法人経営



- ◆課題解決を目指した地域社会との協働の推進【38】
- ◆医学部・病院等再整備事業の検討【40】
- ◆大学創立100周年事業の推進【28】【34】
- ◆広報活動の一層の推進【37】

- ◆不断の経営改革及び持続可能な経営のための自己収入確保【28】【29】
- ◆経営改革を強力に推進するガバナンスの充実【26】【30】【31】
- ◆DXの推進【27】【29】

# I 教育に関する主な取組



## ■3つのポリシーの実現と教育の質保証の推進【1】【4】

高等教育推進センターを中心とした全学的な取組として、教学 IR 活動により明らかになった課題の解決を目的とした FD・SD 研修会を実施するとともに、カリキュラムや授業内容の改善を進め、教育の質向上を図ります。

※3つのポリシー：卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)  
入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)



## ■文部科学省認定「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の推進【3】

令和4年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の認定を受けた領域横断プログラム(ADEPT プログラム)、データサイエンス人材育成プログラムの推進により全学的なデータサイエンス教育を進めます。また、「国際商学部データサイエンス人材育成プログラム」の応用基礎レベルへの申請を行います。



## ■グローバル教育の推進【2】【9】【10】【36】

グローバル教育では、新型コロナの経験を踏まえ、質の高い留学プログラムを提供するために既存プログラムの充実を図るとともに、市及び市内機関等と連携して、横浜ならではの国際体験の機会を提供します。



## ■データサイエンス学部、研究科の機能強化【5】

令和5年度に選定された文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」により、データサイエンス学部、研究科の機能強化を進めます。



## ■社会ニーズに対応したリカレント教育の提供【5】【11】

大学の強みや特色を活かし、データサイエンスや病院経営に関する履修証明プログラムを実施するなど、リカレント教育プログラムの実施を推進します。

また、みなとみらいサテライトキャンパスの積極的な活用やオンライン講座の実施などにより、社会人にも学びやすい環境を提供します。

### 教育関連の主な予算

○高等教育推進センター事業	[ 1 百万円]
○国際化関連事業	[125 百万円]
○大学・高専機能強化支援事業	[198 百万円]

## II 研究に関する主な取組

### ■先進的な医科学研究及びトランスレーショナルリサーチの推進【12】

YCU 連携研究コア※を推進し、新たな研究プロジェクトの展開を目指します。

#### YCU 連携研究コア

基礎と臨床の研究者が連携して研究を進めることで、効果的・効率的に外部研究費の獲得や臨床応用につながる新たな研究が創出されることを目的とした先端医科学研究センターのオープンプラットフォーム



### ■学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)による研究推進【13】【15】【16】

データ活用により本学の「強み」や今後期待される研究分野を見出し、革新的な研究成果の創出を目指します。また、学際的研究を推進し、次の「強み」となる研究分野を創出するとともに、新たな若手研究者の支援案を策定します。



### ■産学官共創オープンイノベーション研究施設の整備【14】

JST「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)事業」(令和4年度採択)、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」(令和5年度採択)など国の大型研究費を活用して産学官共創オープンイノベーション研究の推進や施設の整備を進めるとともに、学内シーズの発掘から社会実装までをサポートする共創イノベーションセンターを設置のうえ、メンタルウェルビーイングの研究開発の国際拠点を目指して、産学官連携によるオープンイノベーションを推進します。



### ■研究基盤の強化・新たな知見の創出に向けた研究機器の整備及び技術員の配置【15】

福浦キャンパスに共用研究機器、医学研究データ解析用GPU・大容量メモリーサーバーを整備し、管理技術員を配置することで、若手研究者の研究時間・研究環境の確保を図ります。



#### 研究関連の主な予算

- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| ○学長裁量事業(戦略的研究、学術的研究)                  | [107 百万円]   |
| ○地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業 | [1,861 百万円] |
| ○共創イノベーションセンターの設置★                    | [18 百万円]    |
| ○研究基盤の強化に向けた研究機器の整備及び技術員の配置★          | [18 百万円]    |

## Ⅲ 医療に関する主な取組

### ■医療安全文化の醸成と体制の拡充【18】

医療の質向上のための体制整備事業「医療の質可視化プロジェクト」に参画して評価を行うことで、継続的な医療の質改善活動につなげます。



### ■新興感染症等への体制整備【18】

新型コロナ対応の経験を踏まえ、福祉保健センターや地域の医師会と連携して、新興感染症等の発生を想定した訓練を実施し、今後の新興感染症等への体制整備を図ります。



### ■附属2病院の新たな連携体制によるがんゲノム医療の推進【21】【23】

令和5年4月に附属病院はがんゲノム医療拠点の指定を受け、センター病院(がんゲノム医療連携病院)との新たな連携により、がんゲノム医療を推進します。



### ■遠隔 ICU 事業の推進【附】 【21】

医療の質の向上や勤務環境の改善を図るため、複数の病院の集中治療室の医療情報をネットワーク通信でつなぎ、附属病院に設置した「支援センター」から集中治療専門の医師等が患者をモニタリングし、遠隔で現場の医師等に助言をする遠隔 ICU 事業に取り組んでいます。令和6年度診療報酬改定による保険収載後の運用開始に向けた取組を進めます。



### ■医療機器や施設・整備の計画的な更新【21】

附属2病院間で、電子カルテの統合や、医療機器の耐用年数を考慮した計画的な購入を進めるとともに、維持保全と安全確保のための施設整備を計画的に行います。



### ■重症系病床等の拡充・改修工事の実施【21】

特定機能病院及び高度急性期病院としての機能強化に向けて、重症系病床等の改修工事を実施します。



### ■病院機能評価の受審による医療の質改善・向上【セ】 【18】

公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価(一般病院3)を受審し、医療の質の継続的な改善・向上を図ります。



### ■専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了看護師の育成と活用 【25】

高度化・複雑化する医療に対応するため、臨床実習指導者講習会の受講や大学院への進学を促進するなど、看護師のスキル向上に向けた取組を進めます。



### ■医師の労働環境の向上【33】

令和6年4月から開始となる医師の働き方改革の新制度に対応するため、医師事務作業補助者の配置によるタスクシフト・タスクシェアなどを推進します。

また、臨床実習環境の更なる充実に向けた教育研究診療設備の整備に取り組みます。



附属病院



附属市民総合医療センター

#### 附属2病院関連の主な予算

○医療機器の更新・整備	【附】[750 百万円]【セ】[750 百万円]
【附】放射線機器の更新(SPECT 装置・3テスラ MRI)	
【セ】注射薬自動払装置の更新	
○施設・設備の更新・整備	【附】[180 百万円]【セ】[277 百万円]
○重症系病床拡充・手術室拡充・病床個室化改修工事★	【附】[517 百万円]
○重症系病床及び生殖医療センターの拡充★	【セ】[162 百万円]
○医師の働き方改革への対応	【附】[180 百万円]【セ】[255 百万円]

## IV 法人経営に関する主な取組

### ■ 不断の経営改革及び持続可能な経営のための自己収入確保【28】【29】

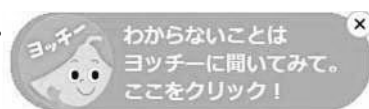
18歳年齢人口が減少する中、時代の変化や社会の要請に柔軟に対応していくため、「改革推進会議」を中心に、プロジェクト形式で全学をあげた経営改革を実行します。

### ■ 経営改革を強力に推進するガバナンスの充実【26】【30】【31】

理事長直轄の「監査室」を新たに設置し、内部監査及び監事監査業務を支援することで、ガバナンスの一層の充実を進めます。

### ■ DXの推進【27】

公式ホームページにAIチャットボットを導入し、学生サービスの向上及び問合せ業務負担も軽減を進めるなどDXを推進します。



### ■ 医学部・病院等再整備事業の検討【40】

医学部・病院等の再整備候補地の見直しに伴い、横浜市と連携しながら「医学部・病院等再整備基本計画」の調整・検討を推進します。

### ■ 大学創立100周年事業の推進【28】【34】

100周年に向けた機運醸成の取組として、新たな講演会の開催や関連リーフレットを作成するなど機運醸成を推進します。また、寄附金の目標額獲得に向けて法人トップ(理事長、学長等)とファンドレイザーを中心とした渉外活動を進めます。



周年ロゴマーク  
コンセプト「パレット palette」

### ■ 広報活動の一層の推進【37】

令和5年度末に策定した広報戦略を推進するとともに、「研究の横浜市立大学」について広く認知を図るため、研究成果を国内外に情報発信するなど広報活動をより一層推進します。

### ■ 課題解決を目指した地域社会との協働の推進【38】

地域貢献センターにおいて地域と大学をつなぐマッチングを進め、広く地域のニーズに応えるほか、教員地域貢献活動支援事業における効果的な支援制度の構築や、「地域貢献コーディネーター」の活動を強化することで、横浜市のシンクタンク機能としての役割を果たしていきます。

#### 法人経営関連の主な予算

○経営基盤強化事業(目的積立金の活用による経営基盤の強化) ※各項目の★の総計	[715百万円]
○医学部・病院等再整備事業の検討	[21百万円]
○教員地域貢献等促進事業	[27百万円]

## 《コラム》 研究力強化に向けた本学の方向性について

国は他の先進国から後れをとっている我が国の研究力強化のために、様々な施策を計画・施行しています。

研究力の高い大学や発展の見込める大学への集中的支援を行う制度として、「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」により、特定分野で世界トップレベルの研究拠点を形成する大学、基礎研究からイノベーション創出を一気通貫で行い大型の産学連携を推進する大学、産学官連携を推進し地域の産業振興や課題解決に貢献する大学に支援を行っています。

本学では、令和5年度に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択され、産学官共創オープンイノベーション研究の推進や施設の整備を進めています。

学内シーズの発掘から社会実装までをサポートする共創イノベーションセンターを設置し、メンタルウェルビーイングの研究開発の国際拠点を目指して、産学官連携によるオープンイノベーションを推進します。

### 施設整備概要図

#### 「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」 による施設整備概要（福浦キャンパス）

##### オープンイノベーションラボ（新築）

- A棟、B棟(3,332㎡)
- 産学官研究用のラボ併設インキュベーション施設（ウェット実験以外の機能施設）

主な施設：メタバースラボ、オープンイノベーションラボ（ドライ）、産学連携ルーム、セミナールーム等

##### オープンイノベーションラボⅡ（改修）

- 先端医科学研究棟内(600㎡)
- 産学官研究用のラボ併設インキュベーション施設
- （ウェット実験に特化した機能施設）

主な施設：MRIルーム

